



小学生マンションドクター養成塾

～ステージ3 お金・協力・話し合い みんなでチャレンジ マンション修繕大作戦！～

小学生マンションドクター養成塾は、小学生を対象に子どもの頃からマンションに住むということに関心を持ってもらおうと3年前から取り組んでいる講座です。ステージ1では「マンションの共用部分」についての講座を、ステージ2では「マンションの防災のしくみや設備」の講座を、それぞれクイズやゲームを交えて開催しました。

そして今回はステージ3を平成30年6月16日（土）、大阪市立住まい情報センターにて、平成30年度ティアアップ+plus 事業として開催しました。今回のテーマは「お金、協力、話し合い」。何やら生々しいテーマですが、マンションで長く楽しくみんなで集まって暮らすために必要なお金のことや、マンションの共用部分のことで決め事をする場合の話し合いやみんなで協力しながらマンションを維持していく過程を、“すごろく”を使って疑似体験していきます。マンション生活、山あり谷あり。いわば、分譲マンション版人生ゲーム！会場をいっぱい使った人が歩くすごろくゲームです。

ゲームの前には、クイズでちょっと肩慣らし。マンションの共用部の復習や、マンション生活に必要なことを学習し、『オフィシャル ルール&ハンドブック』を持っていよいよスタートです！

■いきなり…「マンションの名前をどうする？」

参加した子どもたちは、数人ずつの3つのグループに分かれます。このメンバーが同じマンション（100戸）に住む住民で、それぞれのマンション管理組合の理事さんです。そして、今回のテーマのひとつである「話し合い」の練習のために、まず自分たちのマンション名をみんなで決めるという作業を行います。現実には、購入時点で

マンション名は決まっていますが、今日初めて会った人と共同で一つのことを決める体験をしてもらいます。実際でも、マンションの通称をみんなで決められたら面白いかもしれないですね。

マンションの名前が決まったら、今度は理事長、副理事長、記録係などの役職も自分たちで決めます。会計は機構のメンバーが付きまます。



■マスは全部で91マス。時間は足りるのか？！

すごろくのマスの内容は、

- ・エレベーターなど設備の点検
- ・「タイルが落ちる」などの大きな不具合
- ・外壁ひび割れなどの不具合
- ・火事などの大変な出来事
- ・大規模修繕工事
- ・グレードアップ工事
- ・植栽が枯れるなどのいろいろなアクシデントなどの建物に関するマス
- ・季節のイベント、ニュースの発行、図書コーナー、防災訓練など、暮らしを守るソフト的なマス
- ・管理費の支出など、個人の支出
- ・お給料日やボーナス日、宝くじなど個人の収入
- ・共用部分の保険、管理員の給料等マンションの支出など、できるだけリアルな内容を取り上げて、そのお金の動きも体験できるようになっています。お金の単位はカンガルー。最初は、個人の財布には10カンガルー、マ



マンションの財布には 100 カンガルーが入っています。まずは管理費を個人の財布から 1 カンガルーを払い、共用部分の保険料をマンションの財布から 5 カンガルー払うところからスタートです。順番にサイコロを振って進んでいきます。

■マンションの不具合！ その時どうする？

実際の建物にはさまざまな不具合が発生します。このすぐろくでもそんな不具合をたくさん取り上げています。小さな不具合はポイントが 9 つたまると、大きな不具合であればそのマスに止まると、相談ブースのマンションドクターに相談に行きます。理事長はここで、「排水管が割れました。」など、ドクターに相談内容を説明します。ドクターは、それに対していろいろと解説をします。



■集会（総会）を開いてみんなで決める！

大規模修繕工事や屋上緑化などのグレードアップ工事をするかしないかは、集会（総会）を開いてみんなで決めます。ドクターのアドバイスで、集会を開かなくてはいけなくなったらみんなで集会ブースへ。議長役が議案を読み上げ、理事長が居住者に工事の内容や必要性、費用などについて説明をします。質疑応答のあと決議に入り、可決されても否決されてもまたゲームに戻ります。工事をすればお金が減っていく。でもすぐにでも対応しなければいけないことはやらなくてはいけない。みんなで相談、協力して自分たちのマンションを守っていきます。これも現実に近い、かなりリアルな作業になっています。はじめての体験で、最初はどのようにいいか分から

なかった子どもたちも、ゲームを進めるにつれて慣れていきスムーズに進んでいくように！どのようにしてみんなでマンションを守り、育てていくのかを理解してくれたかな？

■大切なコミュニケーション！でも意外とシビア？

マスでは、季節のイベントや、おしゃべりカフェの設置などをするかしないか、どんなことをするか？をみんなですべて決めます。やると楽しくてコミュニティ形成にもいいのですが、中には「お金がかかるからやらないほうがいい」という意見も出ます。現実さながらですね。



ゲームを進めながら、子どもたちはシールをもらい、ハンドブックに貼っていきます。このハンドブックがマンションの履歴となります。どんな工事をしたとか、どんなイベントをしたかがわかります。速さを競うゲームではないので勝ち負けはありませんが、スムーズにゴールするマンションもあれば、たくさんトラブルに巻き込まれるマンションもあります。時間はギリギリとなりましたが、みんな無事ゴールイン！最後は残金の計算をします。

■今回も盛りだくさんに詰め込んだ子ども企画でしたが、リハーサルで機構のメンバーが大はしゃぎするほど大人がやってもすごく楽しいゲームとなりました。マンション生活初心者の方たちで、マンションをみんなで守るプロセスを知ってもらうためにやってみるのもいいかも！！

(専門委員 原多摩樹)